

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立大島小学校

学習指導案

プログラム	No. 02「これはどこだ？さがしてみようまちパーツ」
単元名 (全10時間)	これはどこだ？さがしてみよう大島まちパーツ
学習のねらい	社会科の学習でのまち探検をきっかけとし、身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、その特性を感覚的に把握する。 地域の魅力や景観を見つめ直すための新たな視点としたり、発信したりすることの楽しさを味わう。
学習内容	1. 出会う：無意識のまま眺めていた景観の中に様々な表情があることを知る（素材との出会い） 2. つくる：地域にあるおもしろいと感じたものの写真を撮り、問題を作る。写真をもとにワークシートを作成する。 3. さがす：ほかの班が写したものの場所とそのもの自体を探す。 4. 気づく：さまざまな素材に囲まれて生活していることに気づく。
参考資料 準備品 実施場所等	準備物: デジタルカメラ(班に1台)、バインダー、筆記用具、コンピュータ、地域の地図 場所: 教室、学区内

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○教師が撮影した写真から、どこにそれがあるかをクイズ形式で考える。 ○撮影手順とカメラを扱う際の注意点を確認する。	○一部分を見せ、その写真が校舎内のどこにあるのかを考えさせる。 ○カメラの使用方法を伝え、周囲の状況に注意しながら撮影させるようにする。	○校舎内の景観について興味をもって、調べようと考えている【主体的に学習に取り組む態度】
2	○大島のまち探検の計画を立てる。		
3, 4	○グループごとに、事前に決めておいた地域で、まち探検をする。 ○見つけたものを写真に撮り、場所を地図に記録する。	○交通ルールを守り、安全に留意しながらまち探検ができるように、言葉かけをする。 ○まちの特徴となっている建物やシンボルマークとなっているような物を撮影できるようにする。 ○まちの景観を構成している	○学区内の地図に、撮影場所を記録することができる【知識・技能】

5 ～ 8	○まち探検で撮影してきた写真をもとに、大島まちパーツクイズを考える。	要素をクイズの題材にできるようにする。	
9, 10	○大島まちパーツクイズ大会を開催する。 ○これまでの活動を振り返り、学習のまとめをする。	○どこに何があるのかだけでなく、その場の風景や景観を構成しているものには様々なものがあることに気付かせるようにする。	○まちの景観を構成している要素にはどのようなものがあるか考え、クイズ形式で表現している。【思考・判断・表現】

<留意点>

- 校外に出る際は、体調管理の確認とともに、児童同士の感覚に配慮する。
- 場合によっては、引率教諭を増やしたり、保護者ボランティアを募ったりする。
- グループごとに機器操作の説明を十分行い、安全に配慮して学習を行う。

1 事業実施報告書詳細

学校名 相模原市立大島小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	校舎内	◎大島小学校にある絵や場所を見つける。大島のまちにはどんなものがあるのか考えるきっかけとする。		・学校にこんなものがあったなんて初めて知る。 ・地域にあるものを知りたい。
2	教室 屋上	◎大島のまち探検の計画を立てる。		・大島と言えば何か、お家の人に聞いてみよう。 ・学校の周りに何があったか、あまり覚えていない。
3, 4	地域	◎実際にまちに出て撮影をする。 ◎普段は見慣れているが、シンボルとなっている建物などを撮影する。		・今まで気がつかなかったまちの魅力がたくさんある。 ・私も初めて知ったものもたくさんあるから伝えていきたい。

5～8	教室	◎撮影したものから大島まちパーツクイズを制作する。		・クイズを作ろう。
9, 10	教室	◎完成したものを発表し合う。		・自分たちがやったことで、大島のことが広まった。 ・大島のよさを大切にしたい。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 最初に、普段見慣れている学校内でも、明確に記憶していない場所を見つける活動を取り入れた。結果、児童が大島まちパーツクイズに必然性をもって取り組むことができた。 まち探検にパーツクイズを組み込むことにより、自分たちが住む地域に興味をもたせるようにした。
(2) 実施にあたり苦労した点 児童の安全面や時数等を考慮すると、調査時間を十分に確保することができなかった。
(3) 児童の反応 これまで過ごしてきた地域のことで、知らないことがたくさんあり、改めて地元の魅力に気づいたり、自分の地域の特徴的な場所を知ってほしいという思いをもったりすることができた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 教育活動において地域に目を向ける機会が少なかったが、施設や風景などを大切に、関わりを深めることで、児童とともに地域の価値を考えていきたいと感じた。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕 児童と地域を関連付けるためには、地域の方や施設などと協働していくことが必要であると感じた。まちのよさや景観について知る機会をもたせ、大切にしたいと思う気持ちを育むためには、計画的に学習を進めていきたい。